

令和6年度事業報告書

〔事業の概要〕

電気通信工学に関する学術の研究並びにその教育を振興助成し、もって我が国産業の発展に資することを目的として、令和6年度は以下の事業を行った。

1. 学術研究の発展に関する助成

東北大学電気通信研究所及び大学院工学研究科・情報科学研究科・医工学研究科並びに工学部における電気通信情報系関連の学術研究及び科学技術を助成する目的をもって、次の研究助成を行った。

- イ 学術研究の発展並びに産学官連携の普及・推進を図る目的のため東北大学へ研究資金として1,900,000円の研究助成寄付を行った。
- ロ 学術研究会議並びに各種研究活動に対しての研究援助
電気通信研究所主催の国際シンポジウム開催に300,000円の研究助成を行った。
- ハ 学術研究を目的とした電気通信情報系の共同プロジェクト研究分野における研究活動に対して300,000円の研究助成を行った。
- ニ 電気通信研究所の一般公開事業等研究活動に対して300,000円の研究助成を行った。

2. 東北大学への教育援助

東北大学電気通信研究所及び大学院工学研究科・情報科学研究科・医工学研究科並びに工学部における電気情報系関連の教育を振興助成する目的をもって、次の援助を行った。

- イ 奨学金の援助
電気通信情報工学の学術研究の推進を図るため、大学院生（博士課程）3名に対して奨学金1,800,000円を給付した。
- ロ 電気通信情報工学系に係るオープンキャンパス事業に係る費用として199,521円の教育援助をおこなった。
- ハ 工学系研究分野への教育援助
大学院入試、非常勤講師の集中講義および課外活動など大学教育関連事業等に対して505,300円の教育援助を行った。

3. 学術研究賞の実施

電気通信情報関連の学術研究分野において、将来を担う若手研究者の育成を目的に学術研究・科学技術の発展・推進を図るため、特に優れた研究業績のあった若手研究者1名及び大学院生2名に対して研究賞を贈り表彰した。これら研究賞贈呈に係る費用として賞状、賞金、賞牌など諸費用として249,633円の経費を要した。

4. 産学連携による企業との連携組織の推進活動

東北大学と電気情報通信系企業との産学連携を図り、社会を担う有為な人材の育成支援・進路指導支援などの活動に取り組み、産学官連携の普及・推進活動を行った。

5. 研究受託の実施

令和6年度においても前年度から引続き電気通信情報分野に関して学術研究活動等を奨励促進した。